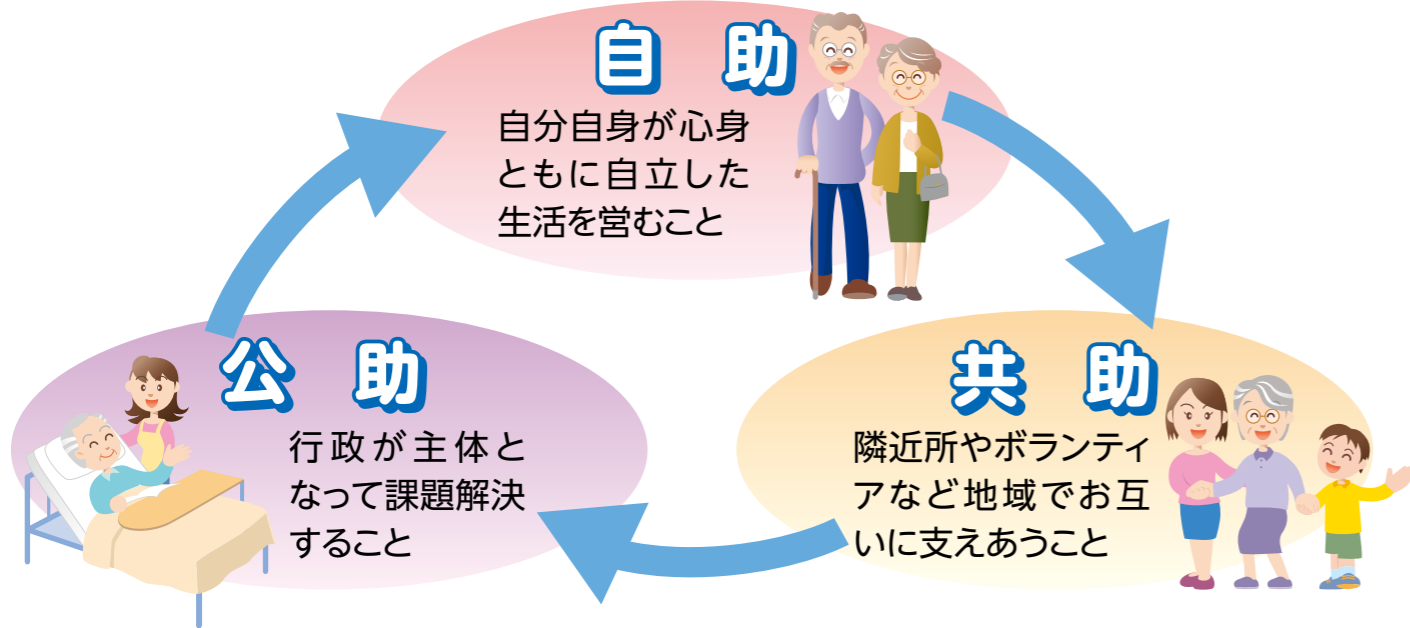


● 地域福祉のしくみ

「安心して地域の中で自分らしく暮らす」ためには住民一人ひとりの努力を基本としながらも、お互いさまの気持ちを持ち「自助」「共助」「公助」のしくみのなかで、支え合い・助け合うことが大切です。



● 取り組む事業（抜粋）

● 地域福祉推進モデル地区の設定

各大字単位で「福祉懇談会」を開催し、“地域の福祉課題を共有する”“地域での解決策を検討する”機会を設け、地域での取り組みを支援します。

● あいさつ運動の実施

地域住民同士、あいさつをすることで、お互いに気にかける関係を普段から持ちます。また、社協職員が実践することと、運動を広げるための周知を行います。

● 有償ボランティア事業の実施

公的なサービス以外の新たな住民の助け合い運動のしくみを検討し、在宅生活を支える社会資源を整えます。

● 「ふくし総合相談窓口」の開設

多様化する日常生活課題に対する解消・解決の一助となるように専任職員を配置し、継続開設します。丁寧な電話対応やアウトリーチ（現場に向く）による支援を行います。

● 新たな講座の開催

地域のボランティアニーズに対応した講座を開催します。講座受講生による新たな活動につながるように支援をします。

● 社協「ホームページ」の作成と発信

山添村社協「ホームページ」を新たに作成し、最新情報を広域的に発信します。

● 社協経営目標の設定

地域福祉活動を継続的に推進するには、健全な社協経営を行うことが重要で、財政・組織・事業の課題・目標を明確にし、社協運営を行います。

● 介護職員の地域福祉活動への参画

社協介護職員が定期的に地域の福祉活動に出向き、専門性を活かして地域に関わりを持ったり、相談コーナーを設置します。

● 社協「キャラクター」の設定

より身近な社協となるように、山添村社協「キャラクター」を考案し、ネーミングを公募します。

社会福祉法人 山添村社会福祉協議会

〒630-2344 奈良県山辺郡山添村大字大西1395番地の1

TEL0743-85-0181 FAX0743-85-0820

Eメール:yamazoe-shakyo@kcn.jp

山 添 村

地域福祉活動計画

こころ さと
心よりそう 郷づくり
～ひとりひとりの〇〇したいを“カタチ”にする～



概要版

社会福祉法人 山添村社会福祉協議会

2016(平成28)年3月

● 山添村地域福祉活動計画とは…

複雑多様化する生活課題に対して、特に高齢者や障がい者の分野においては、公的な福祉サービスは飛躍的な発展をとげてきたと言えます。しかし、地域においては、公的な福祉サービスだけでは対応できない問題や、総合的な対応が不十分であることなどから生まれる問題、また、社会的排除や地域の無理解から生まれる問題などがあります。

今回策定した山添村地域福祉活動計画は、平成28年度から平成32年度までの5年間で地域住民が主体となり「自分の住む地域をよくしていくために」具体的に地域で抱える問題にどう向き合い、解決していくかを考え、どのように活動していくかをまとめたものです。

● 基本理念

「心よりそう郷づくり ~ひとりひとりの〇〇したいを“カタチ”にする~」

「安心して地域の中で自分らしく暮らしたい」と思うのは、誰もが願う共通の願いです。この願いの達成には住民ひとりひとりの関わりを基本としながら、日頃から地域住民、福祉団体、行政、社会福祉協議会が連携・協働して地域福祉活動の推進に努める必要があります。

このことから、山添村地域福祉活動計画の理念は、ひとりひとりに、心よりそいながら、郷(地域)づくりに取り組み、ひとりひとりの行動をもとに“生活しづらさ”を解消する主体的な行動が必要と考え、「心よりそう郷(さと)づくり~ひとりひとりの〇〇したいを“カタチ”にする~」とします。

● 社会福祉協議会とは…

社会福祉協議会は、地域社会において民間の自主的な福祉活動の中核となり、住民の参加する福祉活動を推進し、保健福祉上の諸問題を計画的に協働によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利団体で、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命とする組織で、「社会福祉法」に基づき全国・都道府県・市区町村に設置されている社会福祉法人です。

● 社会福祉協議会の活動原則

社会福祉協議会は3つの活動原則に基づいて、地域の特性を生かした活動を展開しています。

